

議員全員協議会資料

令和2年8月18日

企画政策部企画政策課

川内文化ホール跡地利活用について

川内文化ホール跡地利活用については、市場性調査結果を踏まえ、九州電力株式会社と協議を行っているところであり、現時点における提案施設及び基本協定書（案）の概要を報告するものである。

1 提案施設の概要

コンセプト	○ 九電グループ経営ビジョン2030に掲げた「持続可能なコミュニティの共創」を志向 ○ 薩摩川内市民（子育て女性を中心とした親子3世代）が集い、楽しみ、くつろぎ、学べる場所であり、「開放感、笑顔あふれる憩いの空間」を提供し、中心市街地の持続的賑わいの創出、活性化に寄与
整備概要	【建物】 延床面積約3,500㎡の2階建て 1階（コミュニティスペース）：約2,000㎡ 2階（オフィススペース）：約1,500㎡ 外構に広場設置 【駐車場】 駐車場約200台（公用車駐車場を含む。）
事業費	25億8千万円以上
スケジュール（予定）	○ 2021年度：基本設計・実施設計 ○ 2022年度：建設工事着手 ○ 2023年度末：運用開始

※ 施設イメージパース図については、裏面の図面1及び図面2のとおり

2 基本協定書（案）の概要

川内文化ホール跡地利活用に関する基本的な事項を定めた基本協定書を、今後締結する予定としており、基本協定書（案）の概要は次のとおり

- 公益性の高い機能の確保
新たに整備する施設内に可能な限り公益性の高い機能を付加
※ 具体の機能等については、引き続き協議の上、別途定める。
- 川内文化ホール跡地の賃貸借
29年間の事業用定期借地権設定契約を今後締結予定
※ 土地の賃料については、別途協議の上定める。
- 既存建物の解体・撤去
市が解体・撤去を行い、九州電力株式会社が経費負担
※ 金額及び支払方法については別途定める。

図面 1 (整備イメージ図 : 外観)



図面 2 (整備イメージ図 : 1F 内部)



※九州電力株式会社からの提案内容であり、確定したものではありません。